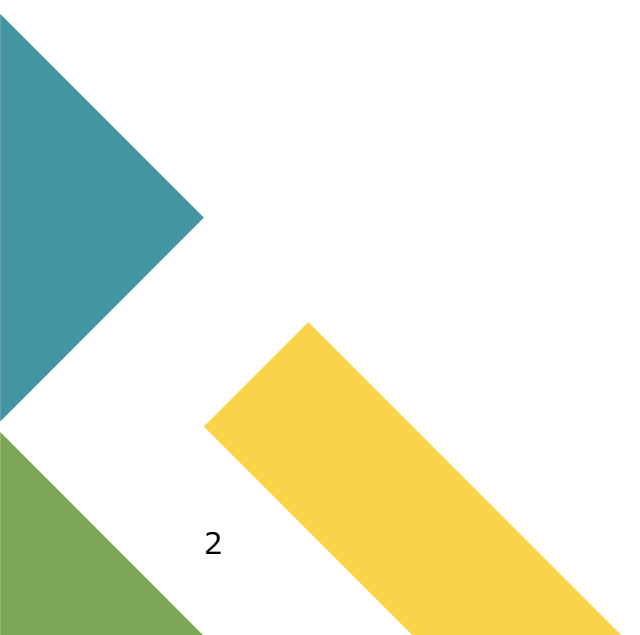


大学評価でわかる！ 志望校の長所と課題

公益財団法人大学基準協会
常務理事／事務局長 工藤 潤



説明の内容



認証評価とは

認証評価結果
の構成

評価結果をどう読
み解くか

認証評価制度の概要

- 文部科学大臣の認証を受けた評価機関によって行われる評価
- 2004(平成16)年度より、すべての大学・短期大学・高等専門学校に対して、**7年以内ごとに認証評価（機関別認証評価）**を義務化
- 専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院は、**5年以内ごとに認証評価（分野別認証評価）**を義務化

認証評価機関（機関別）



独立行政法人
大学改革支援・学位授与機構
National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education



公益財団法人
日本高等教育評価機構



一般財団法人大学・短期大学基準協会
Japan Association for College Accreditation



一般財団法人 大学教育質保証・評価センター
Japan Association for Quality of University Education

機関別認証評価機関の大学評価基準

JUAA	NIAD-QE	JIHEE	JACA	JAQUE
基準 1 理念・目的	領域 1 教育研究上の基本組織に関する基準	基準 1. 使命・目的等 領域：使命・目的、教育目的	基準Ⅰ ミッションと教育の効果（ミッション、教育効果、内部質保証）	基準 1 基盤評価：法令適合性の保証
基準 2 内部質保証	領域 2 内部質保証に関する基準	基準 2. 学生 領域：学生の受入れ、学生の支援、学修環境、学生の意見等への対応	基準Ⅱ 教育課程と学生支援（教育課程、学生支援）	基準 2 水準評価：教育研究の水準の向上
基準 3 教育研究組織	領域 3 財務運営、管理運営及び情報の公表に関する基準	基準 3. 教育課程 領域：卒業認定、教育課程、学修成果	基準Ⅲ 教育資源と財的資源（人的資源、物的資源、技術的資源をはじめとするその他の教育資源、財的資源）	基準 3 特色評価：特色ある教育研究の進展
基準 4 教育課程・学習成果	領域 4 施設及び設備並びに学生支援に関する基準	基準 4. 教員・職員 領域：教学マネジメント、教員・職員配置、研修、研究支援	基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス（大学設置法人の長のリーダーシップ、学長のリーダーシップ、ガバナンス）	
基準 5 学生の受け入れ	領域 5 学生の受入に関する基準	基準 5. 経営・管理と財務 領域：経営の規律、理事会、管理運営、財務基盤と収支、会計		
基準 6 教員・教員組織	領域 6 教育課程と学習成果に関する基準	基準 6. 内部質保証 領域：組織体制、自己点検・評価、PDCAサイクル		
基準 7 学生支援				
基準 8 教育研究等環境				
基準 9 社会連携・社会貢献				
基準 10 大学運営・財務				

認証評価プロセス

STEP 1

自己評価書の分析

大学の自己評価書や各種資料をもとに書面評価

STEP3

評価結果の作成

書面評価、実地調査の結果を踏まえ評価報告書を作成

最終的に決定する前に、当該大学に送付し、事実誤認がないかの確認依頼

STEP2

実地調査

大学を訪問し、大学関係者、学生等に対しインタビュー
資料の確認、施設等の見学、授業参観

STEP4

評価結果の確定

大学に通知
文部科学大臣に報告
ホームページ等で公表

評価結果の入手方法

各大学のホームページ

- 「大学概要」、「大学案内」、「情報公開」のサイトから
- 「自己点検・評価、認証評価」のサイトから
- 「内部質保証」のサイトから
- 「検索」のページから「認証評価」で検索

各認証評価機関または認証評価機関連絡協議会のホームページ

- 認証評価機関ホームページ
 - ・ 年度ごとの評価結果
 - ・ 認証評価結果の検索サイト

評価機関単位
- 認証評価機関連絡協議会のホームページ
検索サイト
<https://jnceaa.jp/result/>

全評価機関

評価結果の構成を知る！（大学基準協会の例）

I 評価基準への適合判定

○○○○○は、

「適合」又は「不適合」を明記

II 総評

○○○○○

当該大学の理念・目的、内部質保証の状況、
教育活動の概要、長所・特徴、問題点等

III 概評及び提言

1. 理念・目的

<概評>

① ○○○○○

② ○○○○○

10の基準ごと

点検・評価項目ごとに記
述

<提言>

1. 長所

○○○○○

「長所」「改善課題」「是正勧告」が付された場
合のみ

評価の全体像をつかむ！（大学基準協会の例）

- 評価結果の概略を大まかに把握したい場合は、
「Ⅰ 評価結果」と「Ⅱ 総評」を読む。

Ⅰ 評価結果

「適合」又は「不適合」

（評価基準を満たしているかどうかの判定）

Ⅱ 総評

- ・ 当該大学の理念、教育研究上の目的、人材養成の目的
- ・ 内部質保証の状況
- ・ 教育の内容・方法・成果
- ・ 長所、問題点の概要

長所や問題点を理解する！（大学基準協会の例）

- 大学の優れた点や問題点を具体的に知りたい場合は、「Ⅲ 概評及び提言」に書かれた提言を読む。

提言・・・「長所」、「改善課題」、「是正勧告」

提言に書かれている内容は、必ず「概評」でも触れられているため、「概評」の該当部分も併せて読むことをお勧めします

大学の優れた取組、長所、特色を手っ取り早く知る方法 (1)

- 認証評価連絡協議会のホームページから
<https://jnceaa.jp/>

			学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	
大阪府立大学	大学改革支援・学位授与機構	内部質保証が優れて機能している点	〇各局における教学アセスメントに係る実施方針を定めるとともにIR推進室設置要項を定め、必要な情報を体系的、継続的に収集、分析する取組を組織的に進め、その結果を教育活動の運営に反映させている。例えば、全学的には、教育戦略室会議では、TA制度に関する様々な調査を行い、その結果に基づきTA制度の実施に関する要領やTA制度運用ガイドラインを作成、運用するなどしている。	
		内部質保証が優れて機能している点	〇学生からの意見を体系的、継続的に収集、分析する取組を組織的に進めるとともに、継続的に学生から教育改善について企画・提案するために平成24年度から学生FDスタッフ制度を導入して、例えば、受講生の声を学生自ら組織して授業科目担当教員との座談会や課程ごとの学習相談会を実施するなどの企画、運営を行い、教育課程の実施に対する学習者の関与を推進している。	
九州歯科大学	大学改革支援・学位授与機構	基準2-3 内部質保証が有効に機能していること	〇学生調査に関する規程類を定め、学修成果の把握、学生の動向に関する調査、分析を継続的に実施し、学内刊行物である「自己評価部会だより」によって教職員、学生との情報共有を図っており、大学の状況を共有し、その改善・向上に学生の意見を反映して取り組み、研究指導の質の向上や生活面でのニーズの把握について向上がみられ、その状況を経年的な満足度調査等によって検証している。	
愛知東邦大学	日本高等教育評価機構	1-2. 使命・目的及び教育目的の反映	〇大学として九つのクレドを制定し、全教職員が各々のクレドを表明しており、それらを印刷物として学内外に配布していることは評価できる。	
		6-2. 内部質保証のための自己点検・評価	〇IR推進体制を更に充実させるために他大学と合同でIR研修会を実施していることは評価できる。	
大阪経済法科大学	日本高等教育評価機構	2-2. 学修支援	〇作成を推奨している卒業論文及び必修としている修士論文について、外国人留学生が日本語での執筆に取組む際に、通常の論文指導及び修士論文に対する日本語科目の担当教員による日本語表現の添削・指導に加え、日本人と留学生のSA二人による支援が国際教育交流センターで行われていることは、留学生に対する学修支援や学生間の交流促進という点において評価できる。	
		2-2. 学修支援	〇「国際教育交流センター」には、留学経験者や元留学生の担当者が多く勤務しており、日本人学生と留学生の交流促進に積極的に努めていることは評価できる。	
横浜薬科大学	日本高等教育評価機構	2-2. 学修支援	〇学修支援策として、学生相互による「学内個人指導制度」を導入し、学修意欲及び学力の向上に役立っていることは評価できる。	
聖徳大学	大学・短期大学基準協会	ミッションと教育の効果	〇自己点検・評価委員会が実施した学科に対する「内部質保証ヒアリング」結果のみならず、適切な教育の内部質保証の実施による教育の質向上の観点から、ヒアリングの項目・方式及びヒアリング状況を含む査定の手法をメタ評価する「企画委員会第二分科会（メタ評価・総合改革）」を設置して内部質保証システム全体の適切性を点検・評価している。	
		教育課程と学生支援	〇卒業認定・学位授与の方針が「内部質保証チェックシート」における「教育目標のアセスメント」の中で定期的に点検され、「内部質保証ヒアリング」によってその妥当性が検証されている。	
		教育課程と学生支援	〇令和3年度から始動した教育プログラム「Field Linkage」は、学部長・学科長が連携してプログラム主体となり発案した各学部・学科の教育内容や特色に応じた企画を基に、教育支援課が実施・運営主体として時間割調整、教室配置を行い、学部・学科と事務局が連携しながら進めており、学部・学科をこえた学際的な独自の取組みを行っている。	
		教育課程と学生支援	〇教育の質向上や実就職率の向上について、学生・クラス担任・キャリア支援課職員による三者面談を行うなど、教職協働の体制によるきめ細かな指導が行われており、令和2年度の実就職率は、卒業生500人以上の女子大学の中で1位を達成し、翌年度の実就職率はそれを上回っている。	
		教育資源と財的資源	〇全ての委員会は、教員だけではなく事務職員も委員となっており、教職協働の体制が整えられ、教員と事務職員が連携して問題解決することで円滑な実習実施を支援するなど、学生の学習支援を組織的に行っている。	
大分県立看護科学大学	大学教育質保証・評価センター		〇大学の自己点検・評価活動の一環として「自己点検・評価委員会」を中心に「年報」を作成・公表し、教員個人レベルから委員会レベル、全学レベルまで詳細な自己点検・評価を毎年度組織的に実施して、内部質保証の充実に努めている。	
			〇教育理念にある「豊かな人間性と幅広い視野」や「科学的根拠に基づく問題解決能力」を養うため、1998年の開学以来、予防的家族訪問実習や健康科学実験といった特徴的な授業を必修科目とし、先駆的かつ継続的に、看護実践に関する総合的能力を有する学生の育成を図っている。	
			〇大分県看護協会等と連携して、1999年度から毎年度、看護国際フォーラムを開催して学生・教職員のみならず大分県の地域で活躍する看護職、保健医療福祉職、教育関係者、高校生らに国内外の最新の情報を届け、また2017年度からは中小規模病院等看護職者や看護学生が活躍する場を確保する等、地域医療と看護の連携を推進している。	

大学の優れた取組、長所、特色を手っ取り早く知る方法 (2)

- 大学基準協会のホームページから
<https://www.juaa.or.jp/>
- 「大学の長所・特色検索」(大学基準協会の受審大学限定)



例えば、どういうものが長所として取り上げられている？ (大学基準協会の例)

長所の例（明治学院大学（2022年度受審））

基準 9 社会連携・社会貢献

＜提言＞ 長所

- 1) 「明治学院大学教育連携・ボランティア・サティフィケート・プログラム」は、学生が「ボランティア実践」「インテグレーション講座の受講」「所定科目数以上の大学の授業を履修し、単位を修得する」という3つの要件を満たすことで、サティフィケートの認証を受けられるようにしている。この取り組みにより、学生の社会活動と大学での学びを関連させ、他者を理解する力、コミュニケーション力等を養うとともに、ボランティアの成果を見える化して、学生の主体的な学びを促進していることは、大学の教育理念を体现する社会貢献の取り組みとして評価できる。

求められる大学改革（1）

■ 少子化による影響

- 人口動態統計によると2023年上半期の出生数 約37万人
⇒ 年間に換算すると74万人→2041年の18歳人口
⇒ 大学進学率（短大含む） 60%
⇒ 2041年の進学者数 $74\text{万人} \times 60\% = \text{約44万人}$
- 2022年の大学全体の収容定員 約63万人
- 2041年の大学全体の収容定員 ？
- 仮に**約63万人**だとしたら……

求められる大学改革（2）

■ 学修者本位の教育の実現

- 大学でどういう教育を受けるか⇒教育を受けた結果、何ができるように何ったか
- 学修成果を向上させるための教学マネジメント
 - P** ✓ 学位授与方針（DP）、教育課程の編成・実施方針（CP）学生の受け入れ方針（AP）の明確化
 - ↓
 - D** ✓ 学修成果を身に付けさせる教育・学習の展開
 - ↓
 - C** ✓ 学修成果の測定・評価、教育システムの検証
 - ↓
 - A** ✓ 評価結果を踏まえた教育プログラムの改善

評価結果を検索するにあたって

- 「学修者本位の教育の実現」に取り組んでいる大学は、どこか？

社会連携・社会貢献
学修成果
学生参画 学生支援 国際 内部質保証
医療 教育等の改善 教育内容・方法の工夫
修学支援 研究 学修意欲の向上



ご清聴 ありがとうございました

認証評価結果を
大学の進路指導に是非ご活用ください